資料２

大分県宿泊税

登録申請及び申告納入の手続きについて

大分県総務部税務課

目　　次

登録申請の手続きについて

1. 特別徴収義務者の登録申請とは ---------- 2
2. 登録が必要な方と申請期限 ---------- 3
3. 登録申請書の作成方法 ---------- 4
4. 登録申請書の提出方法 ---------- 8

申告納入の手続きについて

1. 毎月の申告納入期限 ---------- 10
2. 宿泊税納入申告書の作成方法 ---------- 11
3. 宿泊税月計表の作成方法 ---------- 14
4. 納入申告書と月計表の提出方法 ---------- 18
5. 納入書の作成方法 ---------- 19
6. 納入方法 ---------- 20
7. 申告納入時の注意事項 ---------- 22

登録申請の手続きについて

特別徴収義務者の登録申請とは

宿泊税は、県内の各地域をより魅力あるものにし、観光を持続的に発展させるために活用する財源です。税収の**7割を市町村が地域の実情に応じた取組に、3割を県が広域的な観光施策に**活用します。

宿泊税は、宿泊事業者の皆さまに宿泊者から徴収いただき、申告・納入いただく制度です。
この徴収・申告・納入を担っていただく宿泊事業者を、県に登録する手続きが
「特別徴収義務者の登録」です。

ご登録いただくことで、制度を円滑に運営できます。

- ◆ 県が対象施設を正確に把握し、制度を適切に運営できます。
- ◆ 登録施設に交付する証票を掲示いただくことで、宿泊者に宿泊税への理解を促せます。
- ◆ 報償金の交付や納入申告書の送付など、県との連絡・手続きを円滑に行えます。

宿泊税を地域の観光の力に変えていくため、特別徴収義務者の登録申請をお願いいたします。

登録が必要な方と申請期限

登録が必要となる方（＝宿泊施設の経営者の方）

■ 旅館業法の営業許可を受けたホテル・旅館・簡易宿所
■ 住宅宿泊事業を営む旨の届出をした施設

※ 上記とは別に、委託契約等によりその施設の経営に責任を有している方（＝実質的経営者）を特別徴収義務者とすることも可能です。

登録の申請期限

■ 新たに宿泊施設を経営する場合
⇒ 経営開始（予定）日の **5日前まで**

■ 宿泊税の課税開始時にすでに経営されている方
⇒ 課税開始日の **5日前まで**
（令和9年5月27日まで）

※ 営業許可または届出をした**宿泊施設ごとに1枚の登録申請書**を提出してください。

ただし、以下の要件をすべて満たす場合は、複数施設を1件にまとめて登録申請できます。

・複数の施設が同一敷地内または隣接する敷地に存在していること。
・経理および宿泊台帳の管理を一元的に行っており、区分できないこと。

登録申請書の作成方法①　～登録申請書の様式～

第3号様式（第5条関係）

※処理事項		
	施設番号	
	登録年月日	年　月　日
	電算入力年月日	年　月　日

宿泊税特別徴収義務者登録申請書

1　令和　○年　○月　○日

大分県大分県税事務所長　殿

2　住所又は所在地　大分県大分市○○1-2-3
　　氏名又は名称　株式会社　大分県税観光
　　代表取締役　大分　太郎
　　個人番号又は法人番号（右詰で記載）

大分県宿泊税条例第7条第1項の規定により、下記のとおり特別徴収義務者としての登録を申請します。

3 施設の許可・届出	住所又は所在地	（〒○○○－○○○○） 大分県大分市○○1-2-3			
	ふりがな	おおいたけんぜいかんこう　おおいたたろう			
	氏名（名称及び代表者の氏名）	株式会社　大分県税観光　代表取締役　大分太郎			
	種別	☑ 旅館・ホテル　□ 簡易宿所　□ 住宅宿泊事業			
	許可・届出年月日	○年○月○日	許可・届出番号	第　○○○○　号	
	登録申請者と届出名義人との関係	本人			
4 施設	所在地	（〒○○○－○○○○） 大分県大分市○○1-2-3　電話(○○○)○○○－○○○○			
	ふりがな	おおいたけんぜいほてる			
	名称	大分県税ホテル			
	概要	客室数	○室	収容人数	○名
	経営開始（予定）年月日	○年　○月　○日			
5 住宅宿泊事業における管理業者	管理業者の有無	有　・　無			
	住所又は所在地	電話(　　)　－			
	氏名（名称及び代表者の氏名）				
6 共同事業者	共同事業者の有無	有　・　(無)			
	住所又は所在地	電話(　　)　－			
	氏名（名称及び代表者の氏名）				
7 特別徴収義務者報償金受取口座情報	銀行等 金融機関名	○○(銀行)労働金庫 信用金庫・信用組合 農協・漁協	○○ 本店営業部 支店・出張所 本所・支所 代理店		
	口座種別	(普通) 当座・（　　）	口座番号	○○○○○○○	
	口座名義人（カナ）				
	ゆうちょ銀行 通帳記号	0	口座番号		
	ゆうちょ銀行 口座名義人（カナ）				
8 書類送付先	住所	〒○○○－○○○○　大分県大分市○○1-2-3 電話(○○○)○○○－○○○○			
	ふりがな	おおいたけんぜいかんこう　けいりぶ			
	氏名（法人名）	株式会社　大分県税観光　経理部 e-mail(○○○　@　○○○○　)			

1　複数の宿泊施設を有する場合は、施設ごとに申請書を提出してください。
2　※印欄は記載しないでください。
3　「個人番号又は法人番号」欄には、個人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号をいう。）又は法人番号（同条第16項に規定する法人番号をいう。）を記載してください（個人番号の記載は任意です。）。

≪記載事項≫

1　提出年月日
□　登録申請書の提出年月日を記載してください。

2　申請者
□　宿泊施設の経営者の氏名又は名称、住所又は所在地を記載してください。
　法人の場合、法人名に加え、代表者の職、氏名、法人番号を併せて記載

3「施設の許可・届出」欄
□　旅館業法の営業許可を受けた方又は住宅宿泊事業法の届出をした方の氏名又は名称、住所又は所在地を記載してください。
　法人の場合は、代表者の職、氏名を併せて記載してください
□　「種別」欄には、宿泊施設の該当する種別に☑を記載してください。
□　「許可・届出年月日」欄に旅館業の営業許可日等を記載してください。
□　「許可・届出番号」欄は、旅館業法の営業許可証に記載の許可番号を記載してください。
　住宅宿泊事業法の届出施設の場合は、届出番号を記載してください。

4「施設」欄
□　施設の所在地、名称を記載してください。
□　「概要」欄には、客室数・収容人数を記載してください。
□　「経営開始（予定）年月日」欄には、経営開始年月日を記載してください。

5「住宅宿泊事業における管理業者」欄
□　住宅宿泊管理業者に委託している場合は、管理業者について記載してください。

6「共同事業者」欄
□　特別徴収義務者以外の共同事業者について記載してください。

7「特別徴収義務者報償金受取口座情報」欄
□　報償金受取口座情報として、金融機関名などを記載してください。

8「書類の送付先」欄
□　申告等についての問い合わせ先を記載してください。

登録申請書の作成方法②　～提出年月日、申請者、施設の許可・届出の記載～

※登録申請書の記入例

◎ステップ　1　「年月日」欄　の記載

登録申請書の提出年月日を記載してください。

◎ステップ　2　申請者の記載

特別徴収義務者となる宿泊施設の経営者の住所又は所在地、氏名又は名称を記載してください。

◎ステップ　3　「施設の許可・届出」欄　の記載

・**旅館業法の営業許可**を受けた方又は**住宅宿泊事業法の届出**をした方の氏名又は名称、住所又は所在地を記載してください。
（法人の場合は、代表者の職、氏名を併せて記載してください。）

・**種別**：宿泊施設の該当する種別に☑を記載してください。

・**許可・届出年月日**：旅館業の営業許可日等を記載してください。

・**許可・届出番号**：旅館業法の営業許可証に記載の許可番号を記載してください。
住宅宿泊事業法の届出施設の場合は届出番号を記載してください。

・**登録申請者と届出名義人との関係**：特別徴収義務者と許可名義人が異なる場合は、その関係を記載、同一の場合は「本人」と記載してください。

※処理事項		
	施設番号	
	登録年月日	年　月　日
	電算入力年月日	年　月　日

宿泊税特別徴収義務者登録申請書

1　令和　9年　〇月　〇日

大分県大分県税事務所長　殿

2

住所又は所在地	大分県大分市〇〇1-2-3
氏名又は名称	株式会社　大分県税観光 代表取締役　大分　太郎
個人番号又は法人番号（右詰で記載）	

大分県宿泊税条例第7条第1項の規定により、下記のとおり特別徴収義務者としての登録を申請します。

3

施設の許可・届出	住所又は所在地	（〒〇〇〇－〇〇〇〇） 大分県大分市〇〇1-2-3		
	ふりがな	おおいたけんぜいかんこう　おおいたたろう		
	氏名（名称及び代表者の氏名）	株式会社　大分県税観光　代表取締役　大分太郎		
	種別	☑ 旅館・ホテル　□ 簡易宿所　□ 住宅宿泊事業		
	許可・届出年月日	〇年〇月〇日	許可・届出番号	第　〇〇〇〇　号
	登録申請者と届出名義人との関係	本人		

登録申請書の作成方法③

～施設の概要、住宅宿泊事業における管理業者の有無等の記載～

※登録申請書の記入例

◎ステップ　4　「施設」欄　の記載

・**施設の所在地と名称、電話番号**を記載してください。
・**概要**：客室数・収容人数を記載してください。
・**経営開始年月日**を記載してください。

4

施　設	所　在　地	（〒〇〇〇－〇〇〇〇） 大分県大分市〇〇1-2-3　　電話(〇〇〇)〇〇〇－〇〇〇〇			
	ふりがな	おおいたけんぜいほてる			
	名　　称	大分県税ホテル			
	概　　要	客室数	〇　室	収容人数	〇　名
	経営開始年月日	〇年　〇月　〇日			

◎ステップ　5　「住宅管理事業における管理業者」欄の記載

住宅宿泊事業法の届出施設において、住宅宿泊管理業者に委託している場合は、「有」に〇を記載し、管理業者の住所又は所在地、氏名又は名称、電話番号を記載してください。

5

住宅宿泊事業における管理業者	管理業者の有無	有　・　無
	住所又は所在地	電話(　　)　—
	氏名（名称及び代表者の氏名）	

◎ステップ　6　「共同事業者」欄　の記載

共同事業者がいる場合は、「有」に〇を記載し、共同事業者の住所又は所在地、氏名又は名称、電話番号を記載してください。
※2名以上いる場合は、任意様式により全員分の記載をお願いします。

6

共同事業者	共同事業者の有無	有　・　無
	住所又は所在地	電話(　　)　—
	氏名（名称及び代表者の氏名）	

登録申請書の作成方法④

～報償金の受取口座情報、書類送付先(問い合わせ先)の記載～

※登録申請書の記入例

◎ステップ　7

「特別徴収義務者 報償金受取口座情報」欄　の記載

報償金の受取口座情報としての金融機関等の情報を記載してください。

※報償金は、宿泊税の納期内納入額の2.5％を基準として毎年交付します。

7

特別徴収義務者報償金受取口座情報	銀行等	金融機関名	○○	銀行	労働金庫 信用金庫・信用組合 農協・漁協			○○						本店営業部 支店・出張所 本所・支所 代理店
		口座種別	普通	当座・（　　）		口座番号	○	○	○	○	○	○	○	
		口座名義人（カナ）												
	ゆうちょ銀行	通帳記号					0	口座番号						
		口座名義人（カナ）												

◎ステップ　8「書類送付先」欄の記載

申告書についての問い合わせや各種書類をお送りする場合の宛先について記載してください。

8

書類送付先	住所	〒○○○－○○○○　大分県大分市○○1-2-3 電話(○○○)○○○－○○○○
	ふりがな	おおいたけんぜいかんこう　けいりぶ
	氏名（法人名）	株式会社　大分県税観光　経理部 e-mail(○○○　@　○○○○　)

登録申請書の提出方法(3つの方法)

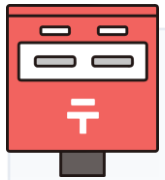


Kintone(電子申請)

PCやスマートフォンからインターネットで24時間いつでも申請手続きが可能です。

https://091b0a5e.form.kintoneapp.com/public/shukuhakuzei

※12月頃からeLTAXに切り替わる予定



郵送で提出

大分県税事務所宛てに書類を送付します。郵便局の**通信日付印(消印日)**が提出日として取り扱われます。



県税(納税)事務所の窓口へ持参

各県税(納税)事務所の窓口へ直接持参して提出します。

申告納入の手続きについて

毎月の申告納入期限(原則)

◆ 各月分の申告・納入期限

毎月の宿泊税を

翌月末日

までに申告・納入

毎月の納入スケジュール

各月の初日から末日までの宿泊にかかる宿泊税は、**原則、翌月末日までに申告納入**します。

【例】4月宿泊分(4/1～4/30) → **5月31日**までに申告納入

※末日が土・日・祝日の場合は翌営業日が期限となります。
※12月申告分(11月宿泊分)の期限は翌年1月4日 (土日祝の場合は翌営業日)です。

◆ 提出が必要な3つの書類

① 宿泊税納入申告書

施設ごとに必要な事項(宿泊数・税額等)を記載。

② 宿泊税月計表

納入申告書に必ず添付して提出します。

③ 納入書

指定の金融機関等で使用します。

**※ 「申告書の提出」と「税金の納入」は、
それぞれ両方の手続きが必要です。**

宿泊税納入申告書の作成方法①　～宿泊税納入申告書の様式～

第9号様式（第7条関係）

宿　泊　税　納　入　申　告　書

受付印　1

年　月　日

大分県大分県税事務所長　殿

※処理事項	施設番号		
	通信日付	確認印	精査検算
	年　月　日		

2 特別徴収義務者	氏名又は名称	株式会社　大分県税観光　代表取締役　大分太郎
	個人番号又は法人番号	（右詰で記載）
	住所又は所在地	大分県大分市〇〇1-2-3
	担当者の氏名	株式会社　大分県税観光　経理部　大分花子 電話(〇〇〇)〇〇〇　―　〇〇〇〇
3 施設	ふりがな 名称	おおいたけんぜいほてる 大分県税ホテル
	所在地	〒〇〇〇－〇〇〇〇 大分県大分市〇〇1-2-3
	施設番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

宿泊月	区分	5 宿泊数	税率	税額（円）
4 令和〇年〇月分	１人１泊５千円未満	50	100 円	5,000
	１人１泊５千円以上２万円未満	100	200 円	20,000
	１人１泊２万円以上 10 万円未満	5	500 円	2,500
	１人１泊 10 万円以上	0	2000 円	0
	小　計	155		27,500
	課税免除	230		

※2 年 月分	１人１泊５千円未満		100 円	円
	１人１泊５千円以上２万円未満		200 円	
	１人１泊２万円以上 10 万円未満		500 円	
	１人１泊 10 万円以上		2000 円	
	小　計			
	課税免除			

※2 年 月分	１人１泊５千円未満		100 円	円
	１人１泊５千円以上２万円未満		200 円	
	１人１泊２万円以上 10 万円未満		500 円	
	１人１泊 10 万円以上		2000 円	
	小　計			
	課税免除			

合　計	385		27,500

1　※印欄は記載しないでください。
2　※2欄は、申告納入期限特例の適用を受けている場合（3ヶ月に1度の申告の場合）に記載してください。
3　課税対象及び課税免除の宿泊数が宿泊年月日ごとに記入された書類（「宿泊税月計表」等を添付してください。）
4　申告すべき宿泊税額が０円の場合も申告書を提出してください。
5　「個人番号又は法人番号」欄には、個人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号をいう。）又は法人番号（同条第16項に規定する法人番号をいう。）を記載してください（個人番号の記載は任意です。）。

≪記載事項≫

1「年月日」欄
□　納入申告書の提出年月日を記載してください。

2「特別徴収義務者」欄
□　登録している特別徴収義務者の情報を記載してください。
※　基本的にあらかじめ印刷（プレプリント）されています。

3「施設」欄
□　宿泊施設の所在地、名称、施設番号を記載してください。
□　施設番号は、宿泊税特別徴収義務者証票に記載のある10桁の番号を記載してください。
※　基本的にあらかじめ印刷（プレプリント）されています。

4「宿泊月」欄
□　宿泊行為があった年月（納入申告書の提出月の前月）を記載してください。

5「宿泊数」、「税額」欄
□　「宿泊数」欄には、課税対象の宿泊数を税率区分ごとに記載してください。
また、課税免除宿泊数を記載してください。
※宿泊税月計表の「合計」欄と一致していることを必ず確認してください。
□　「税額」欄には、宿泊数に税率区分ごとの税率を乗じた税額を記載してください。

※申告の際は、宿泊税納入申告書に**「宿泊税月計表」を添付**してください。

宿泊税納入申告書の作成方法②　～提出年月日の記載、特別徴収義務者及び施設情報の確認～

※宿泊税納入申告書の記入例

◎ステップ　１　「年月日」欄　の記載
　納入申告書の提出年月日を記載してください。

◎ステップ　２　「特別徴収義務者」欄　の確認
　基本的にあらかじめプレプリントされています。

◎ステップ　３　「施設」欄　の確認
　基本的にあらかじめプレプリントされています。

宿　泊　税　納　入　申　告　書

受付

1 年　月　日

大分県大分県税事務所長　殿

※処理事項	施設番号		
	通信日付	確認印	精査検算
	年　月　日		

2 特別徴収義務者	氏名又は名称	株式会社　大分県税観光　代表取締役　大分太郎
	個人番号又は法人番号	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ （右詰で記載）
	住所又は所在地	大分県大分市○○1-2-3
	担当者の氏名	株式会社　大分県税観光　経理部　大分花子 電話(○○○)○○○　－　○○○○
3 施設	ふりがな	おおいたけんぜいほてる
	名称	大分県税ホテル
	所在地	〒○○○－○○○○ 大分県大分市○○1-2-3
	施設番号	○○○○○○○○○○○○○

宿泊税納入申告書の作成方法③　～宿泊月、宿泊数、税額の記載～

※宿泊税納入申告書の記入例

◎ステップ　４　「宿泊月」欄　の記載
　宿泊行為があった年・月を記載してください。
（納入申告書の提出月の前月となります。）

◎ステップ　５－１　「宿泊数」欄　の記載
・課税対象の宿泊数を宿泊料金の区分ごとに記載してください。
・課税免除（修学旅行等）となった宿泊数を記載してください。

◎ステップ　５－２「税額」欄　の記載
　課税対象の宿泊数に税率区分ごとの税率を乗じた税額を記載してください。

◎ステップ　６「合計」欄　の記載
宿泊数と税額の合計を記載してください。

※申告の際は申告書に「宿泊税月計表」の添付が必要となります。

宿泊月	区　分	宿泊数	税　率	税　額（円）
4 令和○年 ○月分	１人１泊５千円未満	50	100 円	5,000
	１人１泊５千円以上２万円未満	100	200 円	20,000
	１人１泊２万円以上 10 万円未満	5	500 円	2,500
	１人１泊 10 万円以上	0	2000 円	0
	小　計	155		27,500
	課税免除	230		
※2 年 月分	１人１泊５千円未満		100 円	円
	１人１泊５千円以上２万円未満		200 円	
	１人１泊２万円以上 10 万円未満		500 円	
	１人１泊 10 万円以上		2000 円	
	小　計			
	課税免除			
※2 年 月分	１人１泊５千円未満		100 円	円
	１人１泊５千円以上２万円未満		200 円	
	１人１泊２万円以上 10 万円未満		500 円	
	１人１泊 10 万円以上		2000 円	
	小　計			
	課税免除			
合　計		385		27,500

宿泊税月計表の作成方法①　～宿泊税月計表の様式～

宿　泊　税　月　計　表　（令和〇年〇月）　1

宿泊施設の名称	2 大分県税ホテル
施設番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

日付	宿泊数（泊）					
	3 課税対象				4 課税免除（修学旅行等）	合計
	宿泊料金が５千円未満	宿泊料金が５千円以上２万円未満	宿泊料金が２万円以上10万円未満	宿泊料金が10万円以上		
1	0	5	0	0	0	5
2	5	3	0	0	0	8
3	3	0	0	0	0	3
4	3	2	0	0	120	125
5	0	1	0	0	0	1
6	2	5	1	0	0	8
7	1	1	0	0	0	2
8	0	7	1	0	0	8
9	1	0	0	0	0	1
10	2	6	0	0	0	8
11	3	2	0	0	110	115
12	0	3	0	0	0	3
13	3	3	1	0	0	7
14	1	6	0	0	0	7
15	2	4	0	0	0	6
16	0	5	0	0	0	5
17	0	1	0	0	0	1
18	1	0	0	0	0	1
19	1	7	1	0	0	9
20	2	6	0	0	0	8
21	2	7	0	0	0	9
22	0	5	0	0	0	5
23	0	3	0	0	0	3
24	4	0	0	0	0	4
25	1	4	0	0	0	5
26	3	2	0	0	0	5
27	5	5	1	0	0	11
28	2	0				2
29	1	2				3
30	2	1	0	0	0	3
31	0	4	0	0	0	4
合計	50	100	5	0	230	385

納入申告書の宿泊数と一致します。

宿泊税月計表：

納入申告書に記載された月ごとの宿泊数を宿泊日ごとに整理したもの。
→　納入申告書に添付の上、提出が必要です。

※記載項目が同じであれば、任意の様式での提出も可能です。

≪記載事項≫

1「宿泊月」欄
□　対象となる宿泊月を記載してください。

2「宿泊施設の名称・施設番号」欄
□　宿泊施設名、施設番号（10ケタ）を記載してください。

3「課税対象」欄
□　課税対象となる宿泊数を宿泊料金ごとに記載してください。
（合計欄が宿泊税納入申告書の宿泊料金ごとの宿泊数と一致）

4「課税免除」欄
□　課税免除となる宿泊数を記載してください。
（合計欄が宿泊税納入申告書の「課税免除」欄の宿泊数と一致）

宿泊税月計表の作成方法②　～宿泊施設と施設番号の記載～

宿　泊　税　月　計　表　（令和〇年〇月）　1

宿泊施設の名称	大分県税ホテル
施設番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

2

日付	宿泊数（泊）					
	課税対象				課税免除（修学旅行等）	合計
	宿泊料金が５千円未満	宿泊料金が５千円以上２万円未満	宿泊料金が２万円以上10万円未満	宿泊料金が10万円以上		
1	0	5	0	0	0	5
2	5	3	0	0	0	8
3	3	0	0	0	0	3
4	3	2	0	0	120	125
5	0	1	0	0	0	1
6	2	5	1	0	0	8
7	1	1	0	0	0	2
8	0	7	1	0	0	8
9	1	0	0	0	0	1
10	2	6	0	0	0	8
31	0	4	0	0	0	4
合計	50	100	5	0	230	385

3　4

◎ステップ　１　「宿泊月」欄　の記載
対象となる宿泊月を記載してください。

◎ステップ　２－１　「宿泊施設の名称」欄　の記載
宿泊施設名を記載してください。

◎ステップ　２－２　「施設番号」欄　の記載
施設番号を記載してください。
※施設番号は、特別徴収義務者証票に記載された10桁の番号です。

宿泊税月計表の作成方法③　～宿泊数の記載～

宿　泊　税　月　計　表　（令和〇年〇月）　1

宿泊施設の名称	2 大分県税ホテル
施設番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

日付	宿泊数（泊）					
	3 課税対象				4 課税免除（修学旅行等）	合計
	宿泊料金が５千円未満	宿泊料金が５千円以上２万円未満	宿泊料金が２万円以上10万円未満	宿泊料金が10万円以上		
1	0	5	0	0	0	5
2	5	3	0	0	0	8
3	3	0	0	0	0	3
4	3	2	0	0	120	125
5	0	1	0	0	0	1
6	2	5	1	0	0	8
7	1	1	0	0	0	2
8	0	7	1	0	0	8
9	1	0	0	0	0	1
10	2	6	0	0	0	8
30	2	1	0	0	0	3
31	0	4	0	0	0	4
合計	50	100	5	0	230	385

◎ステップ　３　「課税対象」欄　の記載
　課税対象の宿泊数を宿泊料金区分ごとに記載してください。

◎ステップ　４　「課税免除」欄　の記載
　課税免除となる宿泊数を記載してください。

（例）

日　付	宿　泊　内　容
〇月1日	1泊2食付き 1人当たり24,000円（うち食事代8,000円）で5名の宿泊
〇月４日	・1泊2食付き　1人当たり18,000円（うち食事代8,000円）で5名家族（大人2名、子ども3名）の宿泊。 （子どもの宿泊料金は1人当たり一律1,000円。） ・修学旅行生　120名の宿泊

納入申告書の「宿泊数」と一致します。

宿泊税月計表の作成方法④　～宿泊税月計表と宿泊税納入申告書の「宿泊数」の突合～

宿　泊　税　月　計　表　（令和〇年〇月）　1

宿泊施設の名称	2 大分県税ホテル
施設番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

日付	宿泊数（泊） 3 課税対象				4 課税免除（修学旅行等）	合計
	宿泊料金が５千円未満	宿泊料金が５千円以上２万円未満	宿泊料金が２万円以上10万円未満	宿泊料金が10万円以上		
1	0	5	0	0	0	5
2	5	3	0	0	0	8
3	3	0	0	0	0	3
4	3	2	0	0	120	125
5	0	1	0	0	0	1
6	2	5	1	0	0	8
7	1	1	0	0	0	2
8	0	7	1	0	0	8
9	1	0	0	0	0	1
10	2	6	0	0	0	8
31	0	4	0	0	0	4
合計	50	100	5	0	230	385
	①	②	③	④	⑤	⑥

※宿泊税納入申告書

宿泊月	区　分	宿泊数	税　率	税　額（円）
令和〇年〇月分	１人１泊５千円未満	50 ①	100 円	5,000
	１人１泊５千円以上２万円未満	100 ②	200 円	20,000
	１人１泊２万円以上 10 万円未満	5 ③	500 円	2,500
	１人１泊 10 万円以上	0 ④	2000 円	0
	小　計	155		27,500
	課税免除	230 ⑤		
合　計		385 ⑥		27,500

「納入申告書」と「月計表」の①～⑥までの数値が一致しているか確認してください。

納入申告書と月計表の提出方法(3つの方法)



eLTAX(電子申告)

PCやスマートフォンからインターネットで24時間いつでも申告手続きが可能です。



郵送で提出

大分県税事務所宛てに書類を送付します。郵便局の**通信日付印(消印日)**が提出日として取り扱われます。



県税(納税)事務所の窓口へ持参

各県税(納税)事務所の窓口へ直接持参して提出します。記載方法等に不明点がある場合はその場で確認できます。

納入書の作成方法　～納入書の様式及び作成方法～



県　税　　納付(納入)書・領収証書　　公

振替口座	加入者	取りまとめ店
01950―4―960003	大分県税事務所	大分銀行県庁内支店

住(居)所及び氏名又は名称

収入	納	税目	事務所	宛名番号	整理番号

枝番	実績年月	日	課税区分	処理日	税

年度	期別	申告実績 年 月分	申告日 年 月 日

	十億	億	百万	千					
1 本税				￥	5,	0	0	0	円
延滞金									円
過少申告加算金									円
不申告加算金									円
重加算金									円
2 合計				￥	5,	0	0	0	円

納期限	令和　〇年　〇月　〇日	3

課税事務所	大分県税事務所

領収日付印

上記の金額を領収しました。
（裏面をお読みください。）

（納税者保存）

≪記載事項≫

1「本税」欄
- ☐ 申告納入する宿泊税額を右詰めで記載してください。
- ☐ 金額の左側に「￥」と記載してください。
- ☐ 当該施設の納入申告書に記載した税額と一致していることを確認してください。

2「合計」欄
- ☐ 申告納入する宿泊税額を右詰めで記載してください。
- ☐ 金額の左側に「￥」と記載してください。

3「納期限」欄
- ☐ 当該月分の納期限を記載してください。

◎「住(居)所及び氏名又は名称」欄　の確認
基本的にあらかじめプレプリントされています。

◎ステップ　1 及び 2「本税」欄、「合計」欄　の記載
申告納入する税額を記載してください。
税額は右詰めで記載し、税額の左側に「￥」マークを記載してください。

◎ステップ　3　「納期限」欄　の記載
宿泊税の納入期限を記載してください。
納入期限は宿泊があった月の翌月の末日です。
4月の宿泊であれば、5月末となります。

納入方法(3つの方法)



eLTAX(電子納入)

納入申告書をeLTAXで電子申告した場合は電子納入が可能です。



金融機関で納入

大分銀行等の各金融機関で納入できます。
納入可能な金融機関については、県のHP(以下のURL)をご覧ください。

https://www.pref.oita.jp/site/zei/nouzeinobasyo.html



県税(納税)事務所の窓口で納入

各県税(納税)事務所の窓口で納入します。

納入方法(3つの方法)

eLTAXによる電子申告・納入をおススメしています！

eLTAXにはこんなメリットがあります。

- PCやスマートフォンから場所を問わず、24時間いつでも申告・納入手続きが可能です。
  自宅や事務所から手続きできます。
- 宿泊数を入力するだけで自動で税額が計算されます。
  申告書の作成がラクになります。
- 様々なお支払方法に対応しています。(インターネットバンキング、クレジットカード、口座振替)



制度開始5年間に限り、電子申告をされた方の報償金交付率を
0.5%上乗せします。この機会に、便利な電子申告をご利用ください。

申告納入時の注意事項

☑ **宿泊実績なしでも要申告：**宿泊実績がない月であっても、無申告と区別するため、納入申告書の提出が必須です。

☑ **施設ごとの作成：**複数の宿泊施設を経営している場合でも、原則として施設ごとに申告書・納入書を作成してください（※同一敷地等で一元管理の施設を除く）。

☑ **期限内の申告・納入：**期限を過ぎて申告・納入された場合、本来の税額に加え、加算金や延滞金が課される場合があります。